

JAMシニアから31人が元気に参加

生き生きと安心して食らえる社会を 全国高齢者集会とデモ行進

9月12日、「生き生きと安心して暮らせる社会づくり」をスローガンに文京シビックホールで全国から2000人が参加して全国高齢者集会が開催された。集会では退職者連合、連合、政党、労働福祉団体の挨拶や西日本豪雨災害緊急報告、長野県諏訪湖環境美化運動報告、内閣府のエイジレス・ライフ実践事例及び社会参加事例事業の公演と表彰が行われ、終了後は元気にデモ行進した。

集会の冒頭、退職者連合人見会長は挨拶で、大阪北部地震、西日本豪雨災害、台風21号による災害、北海道胆振東部地震と立て続く災害で被災された方々への冥福と見舞いを表明。東日本大地震、熊本地震、九州北部豪雨被災地の復旧と復興を強く求めた。そして福島原発の事故原因究明と復興の強化を訴えた。また年金、医療、介護の社会保障は「必要な財源を確保して持続可能な制度にすべきだ」と述べ、そのためには「良質な雇用と賃金の引上げ、所得再配分機能の強化、税制改革が必要だ」と指摘した。さらに、「通常国会は嘘と忖度と強硬採決の国会だった。責任はすべて安倍首相にある」と強調。そのうえで安倍政権の憲法改悪の動きには「国民は憲法改正より経済政策や社会保障の充実を求めている」と述べた。最後に参議院議員選挙と統一地方選挙を政治決戦と位置づけ「連合と連携して退職者連合の総力を結集して連合が推薦するすべての候補者を勝利させ安倍政権を退陣に追い込もう」と挨拶した。その後、神津連合会長、海江田立憲民主党顧問、玉木国民民主党代表、又市社会民主党党首が連帯の挨拶をした。

交流の広場ではアンデルセンの「裸の王様」を西多摩退職教職員でつくるシニア劇団たんぼぼが少し緩み加減の裸で熟演、会場を笑いの渦に巻き込んだ。劇団は平均年齢75歳で男性10人・女性15人。多摩地域の老人福祉施設や保育園などで公演。内閣府エイジレス・ライフ実践事例・社会参加活動事例事業から表彰を受けた。

集会の最後に「高齢者の暮らしと若者たちの未来を守るために、ゆがめられた政治を正そう」との集会アピールを採択。参加者は集会終了後現役に負けない元気さと大声で西神田公園までデモ行進した。JAMシニアからは首都圏地方、本部、幹事から31人が参加した。